

観る、作る、飾る ―見えない存在をカタチにする―

1 ねらい

若い世代に向けて、来館者利用促進と美術館および展覧会への興味関心の高揚を図る。

2 内容および日程

「トリックスター」と名付けられた、三本足の異形の彫刻を制作し続ける彫刻家・浅野暢晴を講師に迎え、全6回のワークショップを行う。参加者は、美術館内のさまざまな場所を観察し、その場所に潜んでいそうな目に見えない存在を自由に思い描き、粘土を用いて彫刻作品を制作する。また、つくった彫刻は参加者が自宅に持ち帰り、好きな場所に飾り写真を撮る。完成した彫刻と撮影した写真は、令和9年1月より当館アートフォーラムに展示する。

・ワークショップ日程

時間：全日程9時30分～12時30分

令和8年 7月19日（日）

令和8年 8月2日（日）

令和8年 8月16日（日）

令和8年 9月6日（日）

令和8年 9月20日（日）

令和8年 11月15日（日）

※上記日程のワークショップで制作した彫刻を、後日講師が焼成して完成させる。

・作品展示場所・期間

場所：当館アートフォーラム

令和9年1月下旬～4月中旬

3 場所

茨城県近代美術館 講座室他

4 対象

当館高校生特派員

5 講師

浅野暢晴(彫刻家)

浅野氏は、茨城町在住。陶を素材とした彫刻作品を制作し、中之条ビエンナーレをはじめ、国内各地の芸術祭を中心に作品発表を行っている。展示空間の歴史や気配を読み取り、その場の特性を生かしたサイトスペシフィックなインスタレーションを数多く手がけている。国内の美術館やアート関連のイベント等でワークショップも実施している。また、県内の特別支援学校での勤務経験を有している。

6 申込方法

各高等学校等の教員が、学校内の申込を取りまとめ、茨城県近代美術館美術課へ名簿(様式1)を送付する。

7 募集期間

令和8年5月15日(金)～6月15日(月)

8 参加条件について

- ・原則、全日程に参加できること。ただし、学校行事、試験等を除く。
- ・ワークショップで制作した作品および撮影した写真は参加者個人に帰属するが、撮影した写真や参加者個人の肖像や音声などが、講師が制作する展示物の一部となりうることにについて承諾すること。また、作品は、当館の広報、記録等で掲載、発信されることがあることについて承諾すること。

なお、承諾に当たっては、(様式2)『「茨城県近代美術館高校生特派員プロジェクト2026」に係わる参加者の作品の使用および写真・氏名等の個人情報の取り扱いについて』の同意書を担当者に提出すること。**期日：7月19日(日)**

- ・ワークショップの各回の詳細についての連絡や、各参加者が撮影した写真等のデータの提出のため。参加者個人または、学校担当者と当館担当者がEmailで連絡がとれること。

9 連絡先

茨城県近代美術館

〒310-0851 水戸市千波町東久保 666-1

電話：029-243-5111 FAX：029-243-9992

Email：kinbi.tokuhain@modernart.museum.ibk.ed.jp

担当：美術課 特派員係